

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請(淡水化装置の信頼性向上工事及び一部撤去)に係る面談
2. 日時：令和2年1月31日(金)14時00分～15時40分
3. 場所：原子力規制庁 9階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
松井安全審査官、田上係員、高木技術参与
専門検査部門
宮崎上席原子力専門検査官
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当2名
福島第一原子力発電所 担当1名

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、実施計画の変更認可申請(淡水化装置の信頼性向上工事及び一部撤去)について、資料に基づき説明があった。
 - 【逆浸透膜装置(R0-1A、1B、2)の解体撤去】
 - 作業中におけるダスト濃度の管理値
 - 作業中にダスト濃度が管理値を超えた場合の対応
 - 解体のスケジュール
 - 【建屋内 R0 濃縮水の移送ライン新設】
 - ポリエチレン製タンクの本体と補強枠を一体と見なした場合の共振評価
 - ポリエチレン製タンクの補強枠の構造強度評価及び耐震性評価
 - 配管の接続部に対する漏えい防止対策及び漏えい拡大防止対策
 - ポリエチレン製タンクに係る火災対策
 - ポリエチレン管に係る火災対策、凍結対策及び紫外線からの保護
 - 設置工事のスケジュール
- 原子力規制庁は、上記の説明内容を確認するとともに以下の対応を求めた。
 - 【逆浸透膜装置(R0-1A、1B、2)の解体撤去】
 - ろ過塔からろ過材を引き抜いた後の保管方法を説明し、保管時のろ過材が保有する水の漏えいに対する考慮を説明すること
 - 【建屋内 R0 濃縮水の移送ライン新設】
 - ポリエチレン製タンクの補強枠を一体と見なした場合の共振評価及び補強枠の評価について、補強が不連続の箇所についてどのように考えているか説明すること
 - ポリエチレン製タンクの補強枠の厚さ、材料等の仕様を実施計画に記載することを検討すること
 - 増設R0濃縮水受タンクの堰から雨水を移送するための設置する設備に係る設計上の考慮を説明すること

6 . その他

資料：

- 淡水化(RO)装置信頼性向上に関する補足説明資料